

# 提 案 の 概 要

港福祉会館・港児童館

(福)名古屋市港区社会福祉協議会

## 1 福祉会館業務

### (1) 管理運営全般について

#### ① 施設管理運営の基本方針等

■ 高齢者の生きがいづくり・健康づくりを応援し、地域福祉の拠点施設として、地域との連携を図ります。

- 1 要介護にならないよう健康増進につながるプログラムや情報の提供を行います。
- 2 生きがいや楽しみにつながる各種講座、レクリエーションのプログラムを提供します。
- 3 世代間交流を図るため、児童館や地域住民と合同企画を実施します。
- 4 高齢者がその知識と経験を活かして社会貢献活動を行えるよう支援します。
- 5 福祉会館の休館日には児童館利用者に施設を提供します。
- 6 一般の方も参加できるイベントを行い、地域に開かれた福祉会館を目指します。
- 7 気持ちよくご利用いただけるよう、笑顔で明るい対応を心がけます。

#### ② 管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

■ 現場で必要となる専門的な知識と経験を習得した職員を配置します。

名古屋市社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、一括採用を行い、社会福祉・児童福祉事業の経験者など、業務に精通した人材を雇用します。多様な研修を行うことで、必要な知識やスキルを身につけた上で、専門性を活かし、常に質の高い安定した事業運営を行います。

### (2) 事業運営の実施計画について

#### ① 生活相談及び健康相談

■ 高齢者が抱える様々な不安、心配ごとなどに応じるため、次の相談事業に取り組みます。

- 1 健康相談（嘱託医師による相談：月 2 回、職員による相談：随時）
- 2 生活相談（職員による相談：随時）
- 3 介護サービス相談（いきいき支援センター相談員などによる相談：隔月）
- 4 就労相談（シルバー人材センターなどによる相談：年 2 回）

#### ② 教養の向上及びレクリエーション等に関する事業

■ 高齢者の教養向上と健康づくりに資する講座を開催し、いきいきとした生活の実現をめざします。

■ アンケートなどにより利用者の声を参考に見直しを行います。

- 1 定期講座（18 講座・年間約 300 回）  
大正琴、茶道、華道、詩吟、籐工芸など多彩な講座を開催します。
- 2 単発講座（年間 12 回）  
認知症サポーター養成、ボランティア養成、防災・防犯講座などを開催します。

### 3 レクリエーション

ベビーゴルフ・ビリヤード大会、演芸大会などを開催します。また、児童館と合同でカラーリング大会や季節にちなんだレクリエーションを実施します。

### 4 60歳代の高齢者向け講座

就労している方も参加しやすいよう、土曜日や平日の午後から参加できる講座を行います。また、ヨガ教室、アロマセラピーなど、ご要望の多い講座を開催します。

### 5 男性向け講座

簡単料理、パソコンやスマホの利用法、ファッション講座などを開催します。

### 6 出張講座

南陽地区会館においてコーラス、絵手紙などの出張講座を定期開催します。また、共催でコンサートなどレクリエーション事業を行います。

共生型サロン陽まわりにおいて、孫育て講座、手芸講座などを開催します。

## ③機能回復訓練の実施

### ■ 高齢者の心身の特性に応じた方法で日常生活の質の向上につながるよう実施します。

- 1 専門講師による定期講座（4講座・年間78回）
- 2 定期講座を受けられない方のための臨時講座（年間4回）
- 3 在宅サービスセンター、南陽地区会館、陽まわりでの出張講座(年間24回)

## ④その他事業

### ■ 共生型サロン陽まわりの運営

古民家を利用した回想法サロンを開催します。(毎週木曜日開催) また、子育て世帯や障がい者との交流を交え、地域に根差した支えあいの拠点施設となるように、陽まわりプロジェクト実行委員会の中心となって運営を行っています。

### ■ 回想法を活用した介護予防

認知症予防に効果のある「回想法」の普及に努め、他機関と協力して回想法サポーター養成講座を開催します。また、サポーターの派遣システムを整備し活動を支援します。

地域での出張回想法を積極的に行い、回想法を通じた介護予防事業を推進します。

### ■ なごやかサロン・認知症カフェ

仲間づくり・憩いの場として、誰でも気軽に利用できる「なごやかサロン」と、認知症の方や介護家族の交流を目的に「認知症カフェ」をわくわくクラブ室において開催します。

平成23年度から25年度の回想法講座修了生の自主グループ「福寿草」や、新たに養成する福社会館リーダーによる運営を行います。

### ■ みなと・なかよし・まつり

児童館との合同まつりを一般に開放し、施設について広く理解していただく機会を設け、新規利用者の獲得に努めます。福社会館リーダー、児童館ボランティアなどの協力で、模擬店、ワークショップ、ゲーム大会など盛大に開催します。

### ■ 障がい者施設などとの交流

種まき事業、なかよし菜園、ハートフルブックプロジェクトなどの活動を通して、会館利用者と障がい者施設の利用者、地域の方が理解を深めながら交流します。

### ■ 時代のニーズをとらえた事業

その時々で高齢者が興味を持ちそうな社会制度の改正や社会貢献、終活に関するセミナーなどを開催し、学習意欲を満たしながら生活に役立つ情報を提供します。

## 2 児童館業務

### (1) 管理運営全般について

#### ① 施設管理運営の基本方針等

■ 子どもと子育て世帯が、遊びをはじめとする様々な体験や地域との交流を通して健全に成長するよう支援します。

- 1 遊び場・玩具の提供や様々な企画を通して、子どもの総合的な生きる力を育てます。
- 2 乳幼児向け講座・交流・相談などを行い、地域子育て支援拠点となります。
- 3 地域住民との交流や移動児童館などを通して、地域ぐるみで子育て支援を推進します。
- 4 児童館同士のつながりの輪を広げ、児童の交流による健全な成長に努めます。
- 5 児童館の休館日には福祉会館利用者に施設を提供します。
- 6 一人ひとりの個性と発達段階に合わせた丁寧な対応をします。

#### ② 管理運営体制（職員配置及び人材の確保・育成計画等）

■ 現場で必要となる専門的な知識と経験を習得した職員を配置します。

名古屋市社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、一括採用を行い、社会福祉・児童福祉事業の経験者など、業務に精通した人材を雇用します。多様な研修を行うことで、必要な知識やスキルを身につけた上で、専門性を活かし、常に質の高い安定した事業運営を行います。

### (2) 事業運営の実施計画について

#### ① 子ども育成活動

■ 様々な体験活動を通じた遊びから、見識を広め自主性・社会性・情操を育み総合的な生きる力を育みます。

##### 1 行事及びクラブ活動

七夕まつり・餅つき・おこしもの作りなど体験を取り入れた行事や、将棋・囲碁など伝統文化にかかるクラブ活動を実施します。

##### 2 読書活動

児童への読み聞かせや保護者向けの読み聞かせ講座を開催します。

##### 3 中高生の居場所づくり

ダンスを通じたサークル化を促し、発表会などの運営企画に主体的に取り組めるよう支援します。

##### 4 食育活動

福祉会館にある菜園を活用し、野菜などの作物を育て、収穫し、調理することで「食」についての関心を深め、命を大切にす食育に取り組みます。

#### ② 子育て支援活動

■ 東西に広い港区の地域性を踏まえ、児童館を中心として東の在宅サービスセンター、西の共生型サロン陽まわりを活用し、幅広い地域で子育て支援を行います。

##### 1 発達に応じた子育て支援講習会

ベビーマッサージ、赤ちゃん体操、親子体操、おおきくなあれを月齢別に開催します。

##### 2 子育て親子の交流の場

ダンスフロア10AM、なかよしひろば、その他交流事業を開催します。

##### 3 集団あそびの場

幼児クラブ、屋内遊園を開催し、幼児が集団で遊ぶことで心身の健康を育み、社会性や協調性を培います。

#### 4 相談・援助などの実施

専門家や職員による子育て世帯への相談・援助を行います。また、区子育て支援ネットワーク連絡会に参画し、包括的に子育て世帯を支援します。

### ③地域福祉促進活動

■ 子どもや子育て世帯の主体的な「子育て・親育ち」を支援するとともに、地域ぐるみで「子育て・親育ち」を支援する仕組みづくりに取り組みます。

#### 1 地域サークル活動の推進

フォトグラファーサークル、クラフトサークルなどのサークル活動を推進するとともに、地域とのつながりをコーディネートします。

#### 2 地域住民等との交流事業

種まき事業、伝統のものづくり講座や福祉会館との合同まつりなどを開催します。

#### 3 集団あそびの場

幼児クラブ、屋内遊園を開催し、幼児が集団で遊ぶことで心身の健康を育み、社会性や協調性を培います。

#### 4 移動児童館事業

サロンへの訪問の他、稲永スポーツセンターと共催での出張講座、在宅サービスセンターでのパパとクッキングを開催します。

#### 5 陽まわりサマースクール

子どもたちが、地域住民から郷土料理や伊勢湾台風の体験談などを学ぶとともに、多世代との交流を図ります。

#### 6 子育て応援リーダーの育成

子育て世代のサークル活動や幼児クラブ参加の保護者から、子育て支援事業で活動できるリーダーを養成します。

### ④留守家庭児童健全育成事業

■ 児童が健全な集団遊びを通し生活習慣を身に付けるとともに、社会性、公共性を育めるよう支援します。

1 子どもたちがあたたかな家庭的な見守りの中で、安心して遊べるように配慮します。

2 集団生活を営むことにより、互いを尊重するマナー、協調のためのルール、思いやる言葉遣いなどを身に付け、社会性や公共性を育みます。

3 食後の読書タイム、児童相互の読み聞かせタイムなどを設け、読書に親しむとともに物語の世界に入り込むことなどを通して、情操を育てます。

4 わんぱく菜園を活用して、さつまいもをはじめとする食物を栽培し、食について学び、栽培を援助していただける高齢者との世代間交流に取り組みます。

5 決められた生活日課を守ることで、心身の健全な発育、安定した情緒の発達を支援していきます。

6 保護者とは、日常のお迎え時間での会話、連絡ノートを活用しての情報交換を行い、互いの信頼を培っていきます。

### 3 収支計画について

#### ① 管理運営にかかる費用等

- 1 安心・安全かつ安定的な施設運営と、福社会館・児童館の設置目的の達成のためには、人材の定着によるノウハウの蓄積、継続的な育成が欠かせません。本会ではそのような視点から、豊富な実務経験や必要な資格を持つ専門職を安定的に確保するのに必要な人件費について、限られた予算の中、経営の効率性を図ることで、前回の申請時と同額を積算しています。
- 2 福社会館の教養の向上のための講座や機能回復訓練、児童館のクラブ講師には、専門の知識と技術を持った講師を招き、内容に見合った謝金を支出します。
- 3 40年が経過し、老朽化した建物の補修と設備の更新にあたり、維持管理に支障をきたすことのないように、4年間の修繕計画を立て順次実施します。
  - ・福社会館予算：概算払い  
(2,160千円/28年度、2,200千円/29年度、1,540千円/30年度、1,320千円/31年度)
  - ・児童館予算：概算払い  
(1,560千円/28年度、680千円/29年度、680千円/30年度、380千円/31年度)

※施設の主な修繕箇所は次のとおりです。

**【福社会館・児童館共通】** 給水配管の交換、屋上の雨漏り修繕、空調設備更新  
壁面塗り替え、公園側道の樹木植替、自転車置き場整備など

**【福社会館設備】** 浴場改修、網戸設置、畳張替、ふすま交換、茶室水屋修繕

**【児童館設備】** 絨毯張替、クラブ室鏡設置、体育室補修、男女トイレ改修など

福社会館指定管理料の主な支出割合

支出費目	4年間平均（千円）
人件費	23,081
物件費	13,745
小規模修繕費	1,805

児童館指定管理料の主な支出割合

支出費目	4年間平均（千円）
人件費	19,900
物件費	8,631
児童クラブ	3,744
学習支援	1,971
小規模修繕費	825
児童館ボランティア派遣費	501

※平均の金額は小数点以下第一位を四捨五入したもの。